

ご覧の皆様へ

こんにちは！浦添市てだこホール山川です。

浦添市てだこホールは、4月で開館10周年を迎えました。これもひとえに、皆様のお蔭です。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。これからも、皆様に安心と安全を基盤としたサービスをお届けしてまいりますので、変わらぬご愛顧をどうぞよろしくお願い致します。

今年は記念事業をいくつか企画しており、その第1弾がパリ在住の奈良ゆみさんをお迎えしてのコンサートです。

20代前半にフランス国費で招聘されパリで学んだ奈良さんは、以後ヨーロッパを中心に活動し数々の賞を受賞しています。メシアンと松平頼則から高く評価され、松平にいたっては晩年の12年間は奈良さんの為だけに曲を作り続けました。そんな奈良さんにとって、メシアンと松平を歌い繋ぐことは「使命」なのかも知れません。今回の企画は、沖縄初のプログラムです。これらの曲を演奏できるアーティストは、国内外にそう多くはいないので、沖縄では最初で最後、一夜限りの舞台になるかと思えます。

奈良さんは、才能ある日本の若手演奏家を見出し、ヨーロッパの著名な音楽家から指導を受ける機会もつくってきました。奈良さんと沖縄の縁は深く、これまで国内外のピアニストとの演奏会は県内でも開催されているものの、沖縄の演奏家との舞台は今回が初めてです。

今回、コラボレーションをする渡具知愛さん（豊見城在住）は、昨年10月と今年2月にパリに行き、それぞれ10日間滞在し、パリ国立高等音楽院の元教授たちから集中指導を受け今回の舞台に臨みます。

難曲にも関わらず、メシアンと松平の曲に魅了された渡具知さん！豊かな感性を持つ地元の音楽家の熱意に応え期待をこめて、浦添市てだこホールが場を提供する次第です。こうした沖縄出身のピアニストの出現にエールを送るとともに、この機会に、雅楽と西洋音楽を結び独自の作風を確立し「日本の現代音楽の父」と、国内外で高く評価された松平の世界にも触れて頂きたいと思えます。

是非、会場まで足をお運びいただき、素晴らしい演奏を身体で感じてください。ご来場を心よりお待ちしております。

浦添市てだこホール
館長 山川厚子